

# つながる世代、地域の寺子屋



JR宝塚駅の北に位置する高台、御殿山。その中心にある御殿山北自治会集会所を拠点に老人クラブ、あすなろ会は活動しています。今回はあすなろ会が地域の子ども達を対象に無料で開催している「習字会」についてメンバーの宮城さんにお話を聞きました。

「習字会を始めようと思ったきっかけは？」

「あすなろ会として未来ある子ども達に何かを残したい、地域のために貢献をしたいという2つの思いを形にしたかったのが始まりです。」

「どうして習字にしようと思ったのですか？」

「御殿山4丁目には高台の中腹に位置するため、子どもが習字をしたいと言っても時間がかかり、帰りが遅くなるい



うことで通わすことが出来ないと言ったことを地域のお母さんから聞きました。そこで自分達が子ども達に教えられるものがないかと思ったときに、現会長である大崎さんが書道の師範が出来る段位を持っていたことがきっかけとなり、あすなろ会で話し合った結果、習字会をしようということになりました。」

「活動を始めて困ったことはありましたか？」

「活動を始めた頃は子ども達が集まらなくて、習字会を開いてもあすなろ会のメンバーしかいないときもありました。」

「どのように習字会を盛り上げていたのですか？」

「自分達でチラシを作り、それを自治会の回覧に2度ほど入れてもらいました。それでも来る子ども達の数はまばらだったのですが、一人ひとりに丁寧に教えていくことで、お母さん方から信頼を得て口コミで広がっていきました。」

「今ではどのくらいの子が来ていますか？」

「開催してから4年近く経ち、上は小学生の高学年から下は幼稚園の子が来ています。いつも10人ほどの子どもたちが来ていて、楽しくそして真剣に筆を動かしていますよ！」

子ども達に習字会についての感想を聞いても、「習字がうまくなった!」「楽しい!」との声が上がっていました。あすなろ会では他にも地域のお祭りで見こしの担ぎ方を子ども達だけでなくその親御さんにも教えたり、気候が涼し

い時期には地域の人と少しでも交流の場を増やすためにみんなで童謡や歌謡をする歌謡クラブを開催しています。◎このような取り組みを今後も続けていきたいとあすなろ会の方々は力強くおっしゃっていました。

## 新人記者の



近頃はニュースなどで多くの報道があるように、子ども達を取り巻く環境が日々変化しています。でも、それは本当に親の責任・学校の責任というだけで解決することなのかと思うんです。

今回あすなろ会取材して、集会所に入りする際に子ども達みんなが挨拶をきちんとする姿を見て、「地域で子どもを育てる、その大切さが少し見えただけな気がしました。」

※「歌謡クラブ」は平成21年度歳末助け合い公募配分金の助成を受けて活動でもあります。

## 高次脳機能障害という障害を御存知ですか？

皆さんの周りで、物事に集中して取り組めない、何度も同じことを聞く、計画を立てた行動ができない、怒りっぽくなったなどで困っている人はいませんか？

この症状にあてはまり、過去に交通事故等による頭部の外傷や、脳卒中・くも膜下出血等の病気をされた方は、脳にダメージを受けて起こる高次脳機能障害かもしれません。

高次脳機能障害の当事者・家族である私たちは、「宝塚市社会福祉



## 「NPO法人活動内容」

・当事者が毎日通える場所を提供し、安心して人と関わり、いろいろな活動を通して、日々の意欲増進につなげていく。

・当事者がかかえる家族も一緒に活動し、気持ちをわたりあえる家族会としても交流を続けていく。

## 【啓発活動】

・地域のネットワークづくりを行い、宝塚市近隣の市をきめ、地域に密着した啓発活動を行う。

・高次脳機能障害についての正しい知識の普及・情報提供を行い、当事者の社会復帰、社会参加につながるようしていく。

・やまぐちクリニック院長、山口先生による講演会を開催。



専門医師による講演会

## ☆スミレンピザ作りました!☆



安倉児童館では子ども達が自分の育てた野菜を使ってスミレンのピザを作ってくれました!写真はほうれん草やなすを使ったベジタブルピザです。他にもキウイ・ブルーベリージャムを使ってデザートピザも作成しています。みなさんも自分だけのスミレンピザ、作ってみてくださいね~☆



## 内容についてのお問合せは...

### 6月(未定)

宝塚市社会福祉協議会

宝塚市障害者自立生活支援センター

電話: 86-5002

FAX: 83-2766

受付時間: 月~土 9時~17時半

### 10月(予定)

NPO法人 宝塚 高次脳機能障害者

共生の会 地域活動支援センター

電話・FAX: 77-7788

受付時間: 火~土 10時~15時